

八潮市議会議員 あさだ和宏(45歳)無所属(刷新の会)



継続こそ・力なり!!
子育て世代の声を市政へ!!

未来の八潮・子どものために… 和宏のほっとかない!! NEWS vol.50<3月議会報告>

編集・発行

あさだ和宏を育てる会
会長 落合 利治
編集長 中井 欣也

〒340-0821 八潮市伊勢野306
FAX 048(996)4361

●発行日 平成25年4月●

討議資料

子供に
ツケを
まわさない!



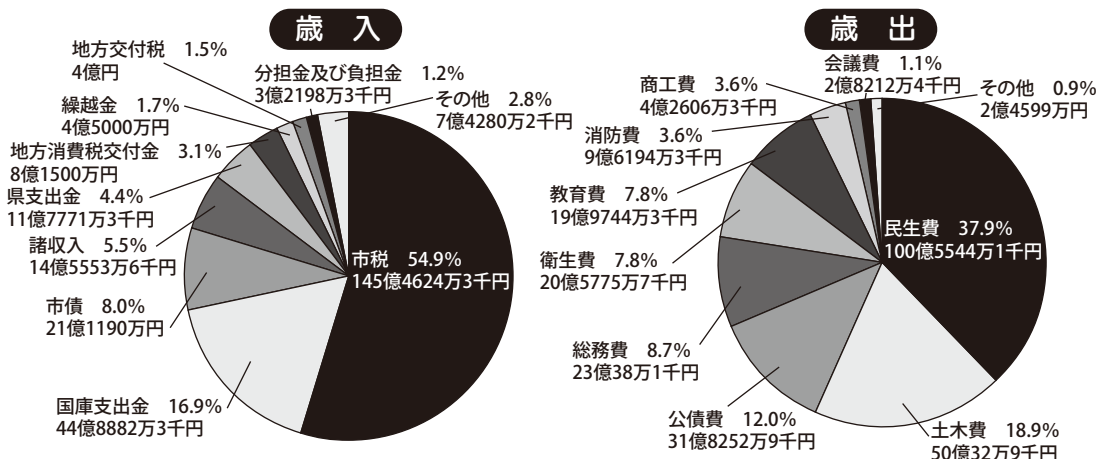
ホームページ

あさだ和宏

検索

face book 始めました

平成25年度 八潮市一般会計予算 (265億1000万円)が可決、認定されました。



さて、本年度の一般会計予算265億1000万円(前年度比4億1000万増)ですが、歳入においては、「法人市民税」が税制改正に伴い減額となる一方で、「固定資産税」や「市たばこ税」で増額が見込まれるため、市税全体では若干ではありますが、増額となることが予想されています。

一方、歳出では、「義務的経費」のうち人件費では減額が見込まれるものの、「扶助費」においては生活保護費等の増額、また「物件費」においても、駅周辺に新たに設置する2箇所の認可保育所に関わる運営費の増加が見込まれており、行政需要の拡大と共に歳出額も全体的に増加傾向となっています。

ハッピーこまちゃん家、1年間の生活費(265万円)に例えると…

※ 本市の平成25年度一般会計予算(265億1000万)を100000分の1換算。

○ 給料	165万 809円	○ 昨年の残り	4万5000円
○ 親からの援助	60万7382円	○ 預金からの繰入れ	1万8848円
○ 兄弟からの援助	11万7771円	○ 借金	21万1190円

上記のように、今年度も厳しい財政運営(経営)を強いられる状況が続くことが予想されており、市の各種施策・事業を実施する際も、限られた財源を有効かつ効率的に活用することが求められています。

そのような中でも、市民サービスの多様化・複雑化は顕著に現れているのが実情であり、私たち議員も目先のことに囚われるのではなく、長期的視野に立ち、市全体の将来像を見据えた政策提言・提案が求められている時代を迎えています。

今年度は、9月に市長・市議会議員選挙が予定されています。私自身、市議会議員として3期目のラストパートの時期であり、今後も市政発展のために努力を続けてまいります。

今年も厳しい
家計だよ!
節約!節約!!



一般質問

行政施設の管理について

Q 高度成長長期に建設された大量の公共施設が老朽化し、その更新費用が地方財政に大きな影響を与え始めています。このことは本市でも同様であり、その中でも昭和56年に制定された新耐震基準前に建設された施設(小中学校を除く)の耐震診断、大規模改修の実施計画を早急に作成する必要があります。と考えるが、市の見解をお聞きします。

A 市所有の公共施設の耐震化については「建設物の耐震改修の促進に関する法律」に基づき、平成21年7月に策定した「八潮市建築物耐震改修促進計画」において、一定規模の施設に対しては平成27年度までに耐震化率100%を目指しています。このように、耐震改修促進計画に基づき、耐震化を進めているので、ご質問の耐震診断・大規模改修の実施計画は作成する考えはない。

再質問 耐震改修促進計画で実施するのは「6施設」と聞いているが、市内には昭和56年の新耐震基準前に建設された施設(小中学校を除く)は、あと何施設あるのか、またその延べ床面積はどの位か。

A 残り17施設あり、その施設の総延べ床面積は、1万3244㎡です。

再質問 仮定の話として、その17施設を全て建て替えた場合、その費用がどの位の位要するののか試算はしたことがあるのか。

A 今までのない。

再質問 一般的な公共施設の場合、標準的な工事単価(1㎡あたり約35万円)として算出した場合、全て建て替えると約46億円が必要となる。このように将来負担を明らかにし(見える化)、今後の対応(改修なのか、

建て替えなのか)を進める必要が大切ではないか。

A 今後、本市の総合計画の見直しの際、各施設の基礎調査を実施、それぞれの施設をどのようにするか位置づけをして実施計画を作る予定。

再質問 では各論に入るが、新耐震基準前に建設された「17施設」の中で、木造建築の建物があると思うが、該当する施設をお知らせ下さい。

A 中馬場保育所、大曾根保育所、古新田保育所の3施設。

再質問 それぞれ築何年が経過しているのか

A 中馬場保育所 41年
大曾根保育所 40年
古新田保育所 35年

再質問 今までの、その3つの保育所に関して、耐震工事は実施してきたのか

A していません

再質問 阪神淡路大震災の被害を分析すると、昭和56年に制定された新耐震基準前に建築した木造建築のうち約8割が倒壊。その後、本市に大きな被害が予想される「首都圏直下型地震」が発生した場合、地震の揺れのパターンは阪神淡路大震災と同様と言われていることを考慮した場合、木造建築の建物は倒壊する危険性もあり、早急に具体的な対応を講じる必要があると思うが、市の考えは

A 地震に対する備えとして、ガラス飛散防止シートの貼り付けや、吊り下げ式の扇風機の入替え等を実施、また平成24年度、25年度において、各保育園の外壁修繕工事を実施、予定しています。議員ご指摘のとおり、市としては保育所における児童の安全の確保は最大の課題だと考えている。今後は、その施設の耐震化を、施設の状

況にあわせて耐震改修につながるような施設修繕が出来るように対策を講じていく考え。

また、老朽化が進んでいる保育所に関して、今後の本市の保育行政の方向性、運営形態等、これらを含めて総合的に「子ども子育て事業計画」の中で議論する予定。

再質問 何年も前から検討がされている小作田教職員住宅のあり方(廃止を含めた)について

A 3月1日現在、46戸のうち、41戸が空き家となっており、今後、教職員が入居する可能性は低いと思われることから「廃止する」方向で検討。

再質問 廃止の方向性が示されたが、廃止が決定した場合、同施設を早急に解体・撤去をする必要があるのでは。

A このことは多額の費用も要することであり、今後検討する。

和宏の考え・意見 今回の質問で指摘をしましたが、本市でも公共施設の維持・修繕、更新は喫緊の課題であると考えます。もちろん、予算の関係上、全ての施設の修繕や耐震工事を進めるといことは不可能であります。だからこそ、現状を明らかにし、マネジメントしながら、より危険性が高いと思われる施設を優先的に進める必要があると考えます。

特に今回指摘した3つの保育園(中馬場・大曾根・古新田)は建築後約40年を経過、さらに同園には当然ながら小さなお子さんが多く通っていることを考えても、早急に対応策を講じ、少しでもリスクを減らす必要があると感じるのは私だけでしょうか。

減災対策について

再質問 遠距離自治体間(1対1)との災害協定の締結について

A 現在、復興支援のため職員を派遣している、福島県矢吹町に申し入れをしており、検討中

再質問 ボランティアを地域で受け入れる環境・知恵などのこと「受援力」を強化するために

市社会福祉協議会との連携・強化について

A 平成24年度、八潮市総合防災訓練において、初めて市社会福祉協議会によるボランティアセンター設置訓練を実施しました。また、現在、八潮市地域防災計画の見直しを行っており同計画に社会福祉協議会の役割を位置づけするとともに、市社会福祉協議会が主体となった災害ボランティアセンターの設置及び運営に関しても今後、協議していく予定。

再質問 関連質問として、神戸市では、先の震災体験を活かし、「災害受援計画」を策定、各部署に支援を受ける業務などを定めたマニュアルを作成したとのこと。本市も、災害が発生したときのことを想定した場合、各部署の受け入れ体制の整備(マニュアル)を進める必要があると思うが

A 今後、防災計画の見直しのあわせて、検討していきたい。

再質問 本市は、市内に多くの「倉庫」が点在しています。災害発生時を想定すると、倉庫は支援物資の保管等、大きな力になると考えます。今後、倉庫協会等との災害時支援協定の締結について

A 協定を締結することにより空倉庫等の借用が可能であれば、支援物資の確保等に役立つものと思われまますので、今後検討していきたい。

防災対策について

再質問 草加市では、全国でも珍しいグラウンドゴルフ専用グラウンドを行政が整備し、利用者から大変好評との声をお聞きします。本市でも、年々、競技人口が増加傾向にあり、専用グラウンドの整備も視野に入れる必要があると思うが市の考えは

A 本市では、平成23年3月31日付で、木曾根・二丁目地区の中川河川敷において、中川やしおフラワーパークを含む約9ヘクタールの区域について、国交省より包括専用の許可を取得しており、当該河川敷の利用方法を市が主体的に決めることが可能となりました。この地域の中に幅約70メートル、

周辺の人の「手本」となるべきなのに、残念ですね。

※紙面の関係上、質問・答弁の内容を一部簡略化・要約しております。詳しくは、「八潮市議会ホームページ・会議録」をご覧ください。

※ちなみに一般質問は、全ての議員が出来るかと私は認識しています。(他の議会では、議長でも質問をしている議会もあります。

要するに、それぞれの議会の「慣例」(何の法的拘束力もありません)で決まっているだけのことであり、慣例に囚われなければよいことです。

Q 河川敷に整備をするということは理解出来たが、私はあえて「専用グラウンド」の整備に拘りたい。これは提案だが例えば、市内にある休耕地(農地等)があった場合、市が土地を借り上げて、専用グラウンドを整備してはと思うが

A 今後、グラウンドゴルフの競技人口の増加を見据えながら、視野に入れていく考えだが、現在のところ考えていない。

Q 今や、高齢者の人気スポーツとなっている「グラウンドゴルフ」ですが、高齢者の皆さんの健康維持に大きな効果があると言われております。

A 本市は、今後、急速に高齢化が進むことが予想されており、行政として、市民の皆さんが高齢となっても、いつまでも健康で過ごすことが出来る仕組み作り(ハード・ソフト面)が急務だと思えます。

その仕組みの一つとして、手軽に出来るスポーツ「グラウンドゴルフ」の普及が大切だと考えており、そのためにも、土日でも利用が出来る、専用グラウンドの整備を望んでいます。

Q 具体的な時期は

A 具体的な時期については未定。但し、今年度予算の中で、国交省との協議のために予算計上をしている。

Q 今後、国交省との協議を進めるとの答弁だったが、いつ頃までに整備をするのか、具体的な時期は

A 具体的な時期については未定。但し、今年度予算の中で、国交省との協議のために予算計上をしている。

残念！「八潮市議会議員の定数の定数を定める条例」の改正について

「賛成少数」で「否決」となりました。

今議会に、私が提出者となり、議員定数削減案「4名減」(22名→18名)を提出させていただきました。

提案にあたり様々な理由がありますが、大きな理由として近隣市と比較しても議員一人当たりの人口や面積も少ないこと、また市の厳しい財政状況を考慮し、議会として自ら行財政改革を断行する必要があると感じ提案しました。

※議案に賛成 (4名)

矢澤議員・大久保議員・福野議員・朝田

※議案に反対 (16名)

- ・民政クラブ(服部議員・柳澤議員・吉田議員・宇田川議員・中島議員)
- ・公明党(武之内議員・森下議員・小倉議員・戸川議員・岡部議員)
- ・自民クラブ(荻野議員・瀬戸議員)※大山議員は欠席
- ・共産党(豊田議員・鹿野議員・郡司議員・池谷議員)＜順不同＞

余談ですが、委員会内での審議の際、反対の意見として「議員が少なくなると住民の声が届きにくくなるので…」との意見がありましたが、それは、議会の制度の補完(一例では、議会としての議会報告会や意見交換会を開催するなど)で対応出来ると反論させていただきました。よく市民の方からは「議員を減らしては…」と質問されることが多いですが、「何故、そのような質問が出るのか…」このことに、議会としてはもちろん、議員一人ひとりが真剣に向き合うことが必要です。

市名	人口	議員数	議員一人当たりの人口	面積	議員一人当たりの面積
八潮市	84,115	22 (18)	3,825 (4,675)	18.03	0.82 (1)
越谷市	329,779	32	10,306	60.31	1.89
草加市	244,182	30 (28)	8,139 (8,721)	27.42	0.91 (0.98)
三郷市	134,238	26 (24)	5,163 (5,594)	30.41	1.17 (1.27)
吉川市	67,981	20	3400	31.62	1.58

※人口は平成25年1月1日現在
※草加市、三郷市は次期選挙から2名減とする条例が可決されている。

第10回 あさだ和宏を育てる会 日帰り親睦旅行が開催されました。

1号車



3月3日(日曜)毎年恒例の育てる会親睦旅行が開催されました。今年は改選の関係で早めの開催となりました。当日は103名の参加をいただきました。今年は茨城方面の旅行となりました。近年雨男(議員?)の力で、ぐずついた天候でしたが、最近の議員の行いの良さ?から朝から良い天気にも恵まれました。

2号車



八潮を出発し、常磐道で水戸方面に向かい、「梅まつり」が開催されている水戸偕楽園で1時間ほど散策を行いました。当日はまだ梅も3分咲きでしたが、梅祭り開催中のため大勢の観光客で賑わっていました。

その後、昼食会場の大洗に向かい、海鮮ランチを食べ、海産物のショッピングを楽しみました。昼食後は、益子焼き共販センターで益子焼の買い物をして、皆様お楽しみみのイチゴ狩りを行いました。吉村農園さんのイチゴは練乳をつけなくても甘く、皆さん時間一杯までイチゴ狩りを楽しんでおりました。ご参加いただきました、皆様ありがとうございました。<オビツ>

大人たちの社会科見学 ～国会見学会を開催しました～

4月4日(木曜日)45名のご参加をいただき、国会見学会を開催させていただきました。

参加者の中には国会を見学するのが初めてという方も多く、今までテレビ等でしか見たことがなかった国会内の様子に皆さん感動されていました。また今回は、受け入れにご協力いただきました衆議院議員鈴木よしひろ事務所様のご配慮により、議員会館内も見学させていただきました。国会見学後は、車窓より「千鳥が淵」の桜と、「東京駅丸の内駅舎」を見学、その後、日本銀行本店横にある「貨幣博物館」を見学しました。

また、次回、機会を作り開催をさせていただきますので、皆様、是非ご参加下さい。



あさだ和宏プロフィール

- 1968年 3月28日 八潮市に生まれる(現在45歳)
- 八潮保育園・大瀬小学校・大原中学校・成立学園(商業科)卒業・卒業後家業を手伝う。
- 2001年(33歳)市議会議員選挙の立候補 1,229票(12位当選)
- 2005年(37歳) 〃 1,415票(9位当選)
- 2009年(41歳) 〃 1,733票(3位当選)
- 議員としての政策立案能力向上のため、40歳を機に、専修大学法学部に入学、2012年4月卒業。



和宏の独り言… (凡事徹底)

お陰さまを持ちまして、11年前の初当選以来、毎議会ごとに発行を続けている「和宏のほっとかないNEWS」も今回で「50号」という一つの節目を迎えることができました。

今思い起こせば、様々な出来事がありました。初当選後、初めて出したニュースでは、同僚議員からは「俺の支援者の家には入れるな」と理不尽なことを言われたり…、また議会で実際に発言したことをそのまま記事として掲載したにも関わらず、「市民に余計なことを教えるな」など…呆れる「言いがかり」もありました。

一方、「議会でどんなことが議論されているのか良く分かる」「今まで私たち有権者から見えづらく遠い存在だった議会が少し近くなった」など、活動に対して理解や励まし等の嬉しい声も多く寄せられました。

ちなみに、発行部数は毎回、約1万5000部ですので、単純に換算すると約75万部発行したことになります。もちろん、今までの発行に要した費用は全て「自費」です。

(過去には、政務調査費から発行費用を捻出している方も…)

さて、今年は9月に市長選挙・市議会議員選挙がある関係で、「4年間総まとめ特集」のようなニュースや広報誌がきつと多く出回ると思われます。

もちろん、それぞれの政治スタイルなので、私はその件に関して否定はしませんが、有権者の立場となった場合、いきなり広報誌1枚で「私は4年間でこれだけ活動しました、頑張りました」と言われても…どうなのかな…と感じます。

私が思う議員の活動というものは、議会での議案チェックや質問、地域の要望や課題に対する政策提言は当然のこと、その内容について有権者の皆さんへ色々なツールを活用し「自ら伝える」ということが大切と感じており、何も議会ごとの広報誌の発行は、特別なことではないと考えます。

「凡事徹底」という言葉がありますが、これからもこの言葉を大切にして、「当たり前」のことを徹底して行う姿勢を貫いてまいりたいと思います。

